

※ 本内容は現時点での予定です。  
 (文部科学省の「『大学入試英語成績提供システム』参加試験ニーズ調査」等を踏まえて今後変更となる可能性があります。)

2020年度(2021年度入学者選抜)より導入される「大学入試英語成績提供システム」に参加予定の資格・検定試験概要②

試験名	2020年度4～12月試験実施スケジュール ※予定の詳細は別紙2参照	検定料 注2)	障害等のある受検生への合理的な配慮 ※配慮内容の詳細は別紙3参照
ケンブリッジ 英語検定 (Cambridge English Qualifications)	C2 Proficiency	PB:計4回程度 CB:計3回程度	○申請方法: 申込締切日(お問合せ頂いた配慮の内容について、試験センターより本部担当部に確認して回答、その後)までに最寄りの認定試験センターに申込。 ※受検上の配慮事項の準備には数か月かかる場合があるため、できるだけ早く申し込むこと。 ○成績表示: 受検者が一部の技能テストを免除されている場合、当該技能については、スコアは表示されない。受検者の全体スコア(Overall)はその他受検した技能のテストの平均値から求められ、CEFR段階別の評価はそのスコアに応じて算出される。なお、受検者が免除される理由については明記されない。
	C1 Advanced	PB:計15回程度 CB:計13回程度	
	B2 First	PB:計10回程度 CB:計10回程度	
	B2 First for Schools	PB:計11回程度 CB:計8回程度	
	B1 Preliminary	PB:計10回程度 CB:計10回程度	
	B1 Preliminary for Schools	PB:計17回程度 CB:計9回程度	
	A2 Key	PB:計8回程度 CB:計10回程度	
A2 Key for Schools	PB:計17回程度 CB:計9回程度		
英検	S-Interview		現在、本項目について整理中。
	1級	・4～12月に計2回程度実施予定。 ・具体的な試験実施日程は関係各位との調整次第、速やかに公開予定 ※2019実施方針は以下リリース参照 <a href="http://www.eiken.or.jp/eiken/info/2018/pdf/20181207_pressrelease_2019eiken.pdf">http://www.eiken.or.jp/eiken/info/2018/pdf/20181207_pressrelease_2019eiken.pdf</a>	
	準1級		
	2級		
	準2級		
	3級		
	S-1 day		
	準1級		
	2級		
	準2級		
3級			
GTEC	Advanced	・4～12月に計4回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2017年度の実績も基に、今後の会場増設の見込みも踏まえて作成。 ・具体的な試験実施日程及び場所等については、2019年中に公表予定。	○申請方法: ・試験申込手続き前かつ、各検定お申込み締切日の2週間前までに、申請書(内容によっては医師の診断書も必要)をFAXで提出。 ・申請書の受領後、対応可否について、7日以内に電話にて連絡。 ○成績表示: 一部技能免除の場合は、免除される技能以外で技能ごとのスコアを合算して平均し、免除される技能の仮スコアを算出する。
	Basic		6,700円程度
	Core		9,720円(税込8%)
	CBT		
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」 (British Council))	・4～12月に公開会場で22～24回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実績を基に作成している。 ・2020年度4～12月の実施予定は、2019年12月末日までに公開予定。	25,380円	○申請方法: 受験希望日3ヶ月前までにセンターにメールにて診断書添付の上、受験希望の連絡を行う。 ○成績表示: 免除の技能があった場合は、免除技能のスコアは、受験した他科目の結果からの推測したスコアが表示され、オーバーオールバンドスコアは、推測スコアを含め4技能の平均が表示される。特記事項として、免除技能のスコアが推測であることが記載される。
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」 (IDP: IELTS Australia))	・4月～12月に計24回程度実施予定。 ・2017年度の実績を基に、今後の会場増設の見込みを踏まえて記入 ・具体的な試験実施日程などは、それぞれの実施月の1年前に公表予定 ・12月もテストは実施されるが、年内に確実に結果を受け取るには11月2週目までの受験が望ましい。(通常の場合、テスト日から13日後にテスト結果は発表されるが、災害、Remarkなどの遅延となりうるあらゆるケースを考慮した場合)	25,380円	○申請方法: 受験希望日3ヶ月前までにセンターにメールにて診断書添付の上、受験希望の連絡を行う。 ○成績表示: 免除の技能があった場合は、免除技能のスコアは、受験した他科目の結果からの推測したスコアが表示され、オーバーオールバンドスコアは、推測スコアを含め4技能の平均が表示される。特記事項として、免除技能のスコアが推測であることが記載される。
TEAP	・4～12月に計3回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実施日程を基に作成している。 ・具体的な試験実施日程については、2019年12月までに公表する。	15,000円	障がい等のある方への特別措置対応は、「TEAP(PBT)」にて承っている。 ○申請方法: TEAPウェブサイト上で受験申込を行う際に「特別措置を申請する」のチェックボックスにチェックする。その上で、同ウェブサイトより「TEAP特別措置要項・申請書」をダウンロードし、「TEAP特別措置申請書」の必要事項を記入。希望する措置を申請するのに必要な「障がいの程度を証明する書類(障害手帳のコピー、医師の診断書等)」を準備。同ウェブサイト上に記載されている申請受付期間(通常、各回申込開始日～約1ヶ月間)内に弊協会宛に特別措置申請必要書類一式を簡易書留で送付。弊協会にて申請内容を審査し、措置内容を決定後、「TEAP特別措置内容決定通知書」を送付。
TEAP CBT	・4～12月に計3回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実施日程を基に作成している。 ・具体的な試験実施日程については、2019年12月までに公表する。	15,000円	○成績表示: 免除(一技能すべて)となる技能があった場合は、スコア欄に「-」と表示される。一技能の中で免除となるパートがあった場合は、実際に受験したパート部分を元に、フルスコアである100点満点のレンジでスコアが表示される。以上のいずれの措置を行った場合も成績表の欄外に免除された旨の説明が記載される。
TOEFL iBT®テスト	・4～11月に計28回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2017年度の実績を基に作成している。 ・具体的な試験実施日程及び場所等については、2019年11月頃に公表する。	235米ドル	○申請方法: ・受験日の設定前(6週間以上前まで)に、ETS Disability Servicesに郵送または電子メールで申請書を提出。 ・申請書の受領後、約6週間の審査を経て対応可の場合は承認書が送付される。 ※受験申込前に、必ずETS Disability Servicesに連絡し、承認を得る必要がある。 ※書類に不備がある場合(再提出が必要な場合)、書類の審査にさらに6週間かかるため、書類はできるだけ早く提出すること。 ○成績表示: ETS発行のスコアレポートには受験した技能のスコアのみ表示される。なお「大学入試英語成績提供システム」を利用する場合のみ、受験した技能のスコアの合計点およびCEFRが表示される。
TOEIC® L&R・S&W (TOEIC® Listening & Reading Test および TOEIC® Speaking & Writing Tests)	・4～12月にL&Rは計8回、S&Wは計18回(9×2回)実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実績を基に作成している。 ・各年の試験実施日程及び場所等については、前年10月未までに公表する。	L&R: 5,725円 S&W: 10,260円 ※L&RとS&Wの両方の試験を受検する必要がある。	○申請方法: ・試験申込締切日までに必要書類の郵送が必要となるため、なるべく早めに電話もしくはWeb上の問合せフォームに連絡。 ・休業日を除く2営業日以内に、対応可否等について連絡。 ○成績表示: 技能免除の場合の総合判定は、免除される技能以外で技能ごとのスコアを合算して行う。

注2) 2020年度の予定価格。経済的に困難な受検生については、各実施主体において、一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。